田舎に雅言の残れること

年　組　番

得点　／30

問一　次の傍線部の読みを、現代仮名遣いを用いて平仮名で答えなさい。

①雅び（　　）　②異国人（　　）　③言選り（　　）

問二　次の傍線部の音便の種類を答えなさい。

①心得たるなめり。（　　）　②卑しくなんなりもてゆくめる。（　　）

問三　次の空欄部に上の語を適切な形にして入れなさい。

①り　　おもしろきことどもぞまじれ（　　）。

②聞く　　肥後の国人の来たるが、言ふことを（　　）ば、

③なり　　いにしへの「たにぐく」のよこなまり（　　）べくおぼゆ。

問四　次の傍線部を文法的に説明しなさい。

①心とどめて聞きもするを、なほ国々の言葉どもをあまねく聞きなば、

（　　）

②こは今の世には絶えて聞こえぬ、雅びたる言葉遣ひなるを、

（　　）

③なべて国々の人の言ふから、そをよきことと心得たるなめり。

（　　）

④なほ思ひ出でんままに、またも言ふべし。

（　　）

問五　次の傍線部を現代語訳しなさい。

①いかにおもしろきこと多からん。（　　）

②よこなまりながらも、多く昔の言を（　　）

③なまさかしき今やうに移りやすくて、（　　）

田舎に雅言の残れること

☆解答例と配点

問一　①みや　②ことくに　③ことえ〈1点×3〉

問二　①撥音便　②撥音便〈2点×2〉

問三　①る　②聞け　③なる〈2点×3〉

問四　①逆説の確定条件の接続助詞　②打消の助動詞「ず」の連体形　③主格を表す格助詞　④婉曲の助動詞「ん」の連体形〈2点×4〉

問五　①どんなにおもしろいことが多いだろう。　②言葉や発音を崩してなまりながらも　③なまじ賢そうな現代風に〈3点×3〉

（計30点）